

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者：（ 1 組：佐藤 ） （ 2 組：佐藤 ） （ 3 組：佐藤 ） （ 4 組：佐藤 ） （ 5 組：佐藤 ） （ 6 組：佐藤 ）
 （ 7 組：佐藤 ） （ 8 組：佐藤 ）
 使用教科書：（ 帝国書院『高等学校 新地理総合』 ）

教科 地理歴史 の目標： グローバル化や情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化を地理的な視点でとらえることができる力を養成する。また、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】 身近な地理的事象を読図の記述や数値の判読能力を生かして考察することができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ささまざまな地理的事象を合理的に判断し、さまざまな形で表現することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ささまざまな地理的事象を探究したいと思う気持ちや意思を持つことができる。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組みなどを、具体的な事例とともに理解し、地形図などの地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察できる。また、地理的な課題の解決に向けて構想し、その成果を効果的に説明したり、それらを基に議論することができる。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を目指し、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする意欲や姿勢を持つことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 地図と地理情報システム 【知識及び技能】日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を目指し、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 地球上の位置と時差 地図の役割と種類 ・教材 教科書、地図帳、資料集、プリント ・Classiを活用し課題配信	【知識・技能】日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	A 単元 結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 現代世界の国家と領域 グローバル化する世界 ・教材 教科書、地図帳、資料集、プリント ・Classiを活用し課題配信	【知識・技能】現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断・表現】現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者：（ 1 組：佐藤 ）（ 2 組：佐藤 ）（ 3 組：佐藤 ）（ 4 組：佐藤 ）（ 5 組：佐藤 ）（ 6 組：佐藤 ）
 （ 7 組：佐藤 ）（ 8 組：佐藤 ）
 使用教科書：（ 帝国書院『高等学校 新地理総合』 ）

教科 地理歴史 の目標： グローバル化や情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化を地理的な視点でとらえることができる力を養成する。また、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】 身近な地理的事象を読図の記述や数値の判読能力を生かして考察することができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな地理的事象を合理的に判断し、さまざまな形で表現することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな地理的事象を探究したいと思う気持ちや意思を持つことができる。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組みなどを、具体的な事例とともに理解し、地形図などの地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察できる。また、地理的な課題の解決に向けて構想し、その成果を効果的に説明したり、それらを基に議論することができる。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を目指し、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする意欲や姿勢を持つことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	A 単元 生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】世界の生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 世界の生活文化を基に、世界に存在するさまざまな文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】世界の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 世界の言語・宗教と人々の生活 歴史的背景と人々の生活 世界の産業と人々の生活 ・教材 教科書、地図帳、資料集、プリント ・Classiを活用し課題配信	【知識・技能】世界の生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】世界の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を目指し、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	A 単元 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題及び都市問題などを基に、各地の地球的課題の特徴について理解する。 世界各地で見られる地球的課題の解決には、持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題及び都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 複雑に絡み合う地球的課題 地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口問題 食料問題 都市・居住問題 ・教材 教科書、地図帳、資料集、プリント ・Classiを活用し課題配信	【知識・技能】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題及び都市問題などを基に、地球的課題の特徴について理解している。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題及び都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者：（ 1 組：佐藤 ）（ 2 組：佐藤 ）（ 3 組：佐藤 ）（ 4 組：佐藤 ）（ 5 組：佐藤 ）（ 6 組：佐藤 ）
 （ 7 組：佐藤 ）（ 8 組：佐藤 ）
 使用教科書：（ 帝国書院『高等学校 新地理総合』 ）

教科 地理歴史 の目標： グローバル化や情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化を地理的な視点でとらえることができる力を養成する。また、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】 身近な地理的事象を読図の記述や数値の判読能力を生かして考察することができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ささまざまな地理的事象を合理的に判断し、さまざまな形で表現することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ささまざまな地理的事象を探究したいと思う気持ちや意思を持つことができる。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを、具体的な事例とともに理解し、地形図などの地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察できる。また、地理的な課題の解決に向けて構想し、その成果を効果的に説明したり、それらを基に議論することができる。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を目指し、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする意欲や姿勢を持つことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
3 学 期	A 単元 自然環境と防災 【知識及び技能】我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 日本の自然環境 地震・津波と防災 火山災害と防災 気象災害と防災 自然災害への備え ・教材 教科書、地図帳、資料集、プリント ・Classiを活用し課題配信	【知識・技能】我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	A 単元 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 生活圏の調査と地域の展望 ・教材 教科書、地図帳、資料集、プリント ・Classiを活用し課題配信	【知識・技能】生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 【思考・判断・表現】生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査				○	○	